



雨の8月 高原温泉 傘

8月に入り、まるで内地の梅雨時期のように前線が停滞し日照時間が短く雨も多い北海道。ここ高原温泉も朝に一瞬の陽光が降ったと思ったのも束の間、すぐに天気が崩れ雨がザーザーという日が続いています。

8月4日、5日は大雨の影響によりコースの閉鎖もあり、また8月に入り高根ヶ原の斜面で見られるヒグマ達の数も段々と減ってきた高原温泉沼巡り登山コース。このあいだやっと雪が解

けたばかりだというのに、高原温泉には秋が近づいてきている気配も…それでも、この大雪山の猛ダッシュの季節の巡りとともに、それに合わせてその時、一瞬一瞬を生きる大雪の野生動植物達の逞しさと美しさにやはり感動をもらう日々です。

甲子園も始まったばかりの内地では連日の猛暑のニュースも流れる中、こちら大雪山ではここから先の一雨一雨が季節を秋へと塗り替えていくことになりそうです。



久しぶりにお日様を見た8月7日朝の高原温泉。朝だけでした…

【トンボ天国・緑沼～】

ここ最近もずっと緑沼への往復コースとして開放している沼巡り。

6～7月は長時間を過ごすことが少なかった緑沼での巡視時間が増えました。この緑沼、他の沼に比べるとこの時期何故かトンボ達の数が多い。他の沼にも勿論トンボ達の姿を見かけるのですが、緑沼ほど多くは無く…ヤンマ科、エゾトンボ科、イトトンボ科…多くのトンボ達が飛び交い沼の畔に産卵している光景も。

卵で冬を越して翌春羽化し1年の命で一生涯を終えるトンボもいれば、数年間生きるトンボも。この大雪山でそれぞれの命を懸命に燃やす小さなトンボ達の物語が息づく緑沼。

立ち寄った際には是非トンボ達を探してみてくださいね。



ルリボンヤンマ。卵期に1度、幼虫期に2～3回冬越するトンボで3～4年生きる長寿のトンボ。



ルリイトトンボ。夏に産み落とされた卵は15日間で孵化。幼虫のまま越冬し、春に羽化。1年という一生を生きるトンボ。



【くまニュースVol.5 大陸からきたヒグマ達】

北海道のヒグマ達。

日本最大の哺乳類である彼らを観察していると、一言にヒグマといっても1頭1頭に特徴があり多様な表情を見せてくれることに気が付きます。

ここ高原温泉の沼巡り登山コース周辺で見られるヒグマ達もまた1頭1頭違った顔をしています。

このヒグマ達、最近の研究では北海道のヒグマは遺伝的に以下の3タイプに分けることができ、さらにこの3つのグループは北海道で分岐したグループではなく、大陸で分岐した別々のグループが時代を違えて3回に分かれて北海道へ入ってきたと考えられるそうです。

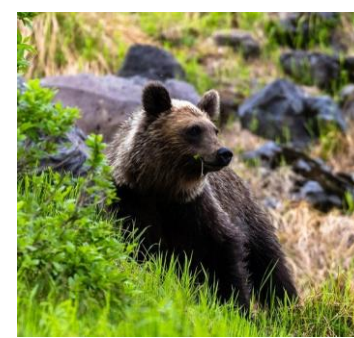
◆ヒグマのタイプ◆

- ①クラスターA（北海道北部から中央部にかけて分布）  
→ 一番新しいグループでユーラシア大陸に分布するヒグマの系統
- ②クラスターB（道東知床半島から白糠丘陵北部にかけて分布）  
→ 2番目に古いグループ。国後・択捉と同じグループでアラスカ半島東部のヒグマと近縁
- ③クラスターC（渡島半島地域から石狩西部地域に分布）  
→ 一番古いグループで北米南部内陸のグリズリーと近縁  
～“アーバンベア とのりのヒグマと向き合う/佐藤喜和著”より～

大雪山の個体群はこのグループからすると一番新しいクラスターAに属することになるのでしょうか？

ヒグマと一言で言ってもそれぞれの持つ表情が本当に豊かで驚かされますが、それは彼らが北海道の大地に渡ってから、たとえ同じルーツを持つもの達であってもそれぞれの環境に適応しながら生きていく中で、例えば食べ物の違い、関わる個体群の違い、更には人との関係など、様々な相関図が出来上がり、その中で順応しながら生きてきた証なのかもしれません。

3万年ほど前までは本州にもいたとされるヒグマ達が唯一日本で現存する北海道。人との関わりを持たないと生きていけないヒグマも出て軋轢も起きている中、北海道でこれからもなんとかこのヒグマ達の系譜が受け継がれていくことを願っています。



★ヒグマ情報センターの活動、沼巡り登山コースの情報などはSNSでも発信中ですので覗いてみてくださいね。





# 高原温泉沼めぐり 登山コースの様子



学沼

式部沼

高原沼

空沼

エゾ沼



コガネギク

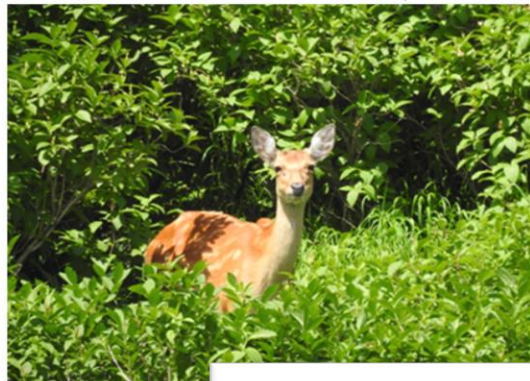


イワオトギリ

エゾシカは安定の遭遇率！



8/1.たまに晴れるとやっぱり綺麗♪



湯の沼

8月1周目。天候不良で緑沼も霧や雨の日が多かった…

緑沼

土俵沼

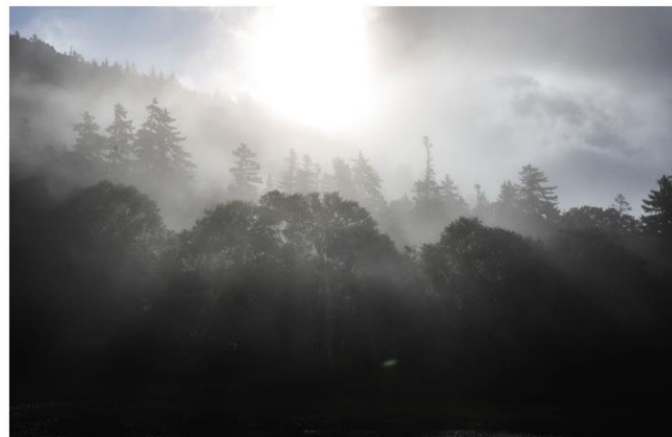
バショウ沼



雨が多いせいで登山道脇のささやぶ成長。巡視のたびに刈払い。



クロウソゴの実



たまに見るお日様が本当にうれしい日々…



0.6KM

0.3KM



高原温泉  
ヒグマ情報センター

オオシオカラトンボ (メス)



ダイセツトリカブト



エゾリスとも遭遇！



シオガマガク

大雪山国立公園高原温泉  
沼巡り登山コース

第5号 (8月9日)

発行：ヒグマ情報センター